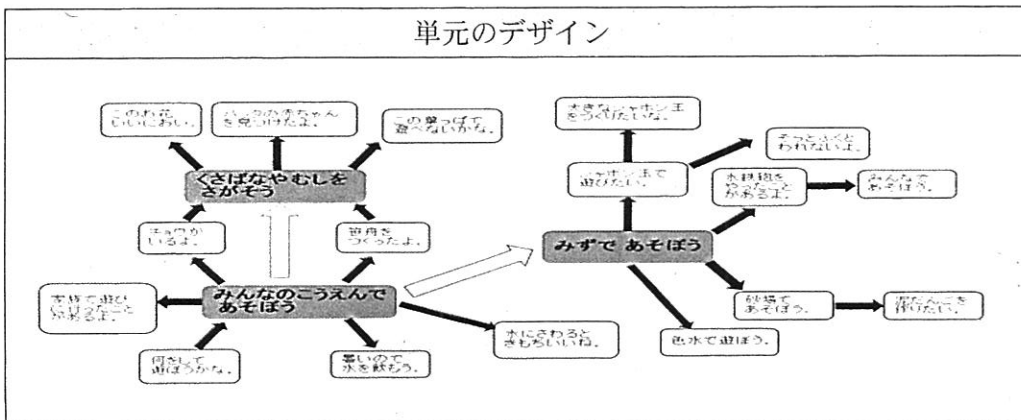


<p><b>単元に係る児童の実態</b></p> <p>本学級の児童は、学校のまわりの自然や身のまわりの環境に対して興味や関心を持っており、入学してから少しずつ行動の範囲を広げてきた。これまでに、「がっこうだいすき」の単元で学校の施設や学校生活を支えている人々がいることがわかり、それらの方々と自分との関わりについて学んできている。しかし、放課後や休日に公園などの公共施設に出かける児童は少なく、学校の外で他者と関わる経験や地域の自然や施設に親しむ機会は十分とはいえない。また、動植物、土、砂、水などの自然を利用して工夫して遊ぶ経験も不足していると考えられる。</p>
--

<p><b>単元のゴール</b></p> <p>公園に行きルールやマナーを守って遊具や自然物で遊ぶ体験を通して、公園は自分たち以外にも利用する人がいることに気付き、安全に気をつけて正しく利用することの大切さについて考えることができる。また、草花や樹木、虫などの動植物の観察をしたり、草花や樹木を使って遊んだりすることを通して、季節を感じ、夏の動植物の特徴に気付くことができる。そして、体全体で水に触れたり水を利用して遊ぶおもちゃを工夫して作ったりしながら、水の性質の不思議さや面白さに気付き、遊びを楽しむことができる。</p>
---

<p><b>身近な生活に関わる見方・考え方</b></p> <p>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする中で、公園探検などの体験活動とさまざまな体験から感じたことを表現する活動とが、豊かに行き来する相互作用を重視し、気付きの質を高めていくことを意識していく。</p>	<p><b>主体的・対話的で深い学びに向けて</b></p> <p>主体的に活動することができるように感じたことを自分なりに表現し、お互いに交流し合う活動の充実を図る。友達と伝え合い交流する活動により、児童の学びを質的に高めていく。また、気付いたことを基に考えることで、新たな気付きを生み出し、より深く学ぶことができるようにする</p>
--	--



<p><b>単元計画</b></p> <p>◎学習課題・問題 ○まとめ</p>	<p>◆各時間終了後の児童の姿</p>
<p><b>1時間目</b></p> <p>◎公園探検で見つけることを考えよう。</p> <p>○公園探検で見つけること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなものがあるか。</li> <li>・どんな人がいるか。</li> <li>・どんなことができるか。</li> </ul>	<p>◆公園探検での視点がわかる。</p>
<p><b>2時間目</b></p> <p>◎城址公園の秘密を見つけよう。</p> <p>○公園にはいろいろなものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具、噴水、木、草花、ベンチなど</li> <li>○公園には、たくさんの人たちが来る。</li> </ul>	<p>◆城址公園の様子について大まかにわかっている。</p>
<p><b>3時間目 (本時)</b></p> <p>◎城址公園で楽しく遊ぶ計画を立てよう。</p> <p>○公園で過ごす際に気を付けることや、楽しく遊ぶために守らなければいけないことがある。</p>	<p>◆公園を利用する地域の人たちのことを考えて、遊ぶ計画を立てることができる。</p> <p>◆お互いの気持ちを考えながら、グループで楽しく遊べる工夫をすることができる。</p>
<p><b>4時間目</b></p> <p>◎公園での約束を守って、城址公園で楽しく遊ぼう。</p>	<p>◆公園で遊ぶ際のルールやマナーについて理解し、遊具や自然物を使って、みんなで楽しく遊んでいる。</p>
<p><b>5時間目</b></p> <p>◎公園で遊ぶときに気を付けなければいけないことを考えよう。</p> <p>○公園は、みんなが楽しく過ごす場所なので、周りの人のことを考えて遊ぶ。</p>	<p>◆公園がみんなでする場所であることがわかり、公園の利用の仕方を理解している。</p>
<p><b>6・7時間目</b></p> <p>◎夏の草花や虫を観察して気がついたことを教え合おう。</p>	<p>◆季節を感じ、夏の草花や虫の特徴に気付いている。</p>
<p><b>8・9時間目</b></p> <p>◎水を使って遊ぼう。</p> <p>○工夫して、さらに楽しく遊ぶことができる。</p>	<p>◆水を使った遊びを考え、工夫して遊んでいる。</p>

# 授業デザイン ( 3 / 9 )

**前時の概要**

- 公園探検での視点について学習した上で公園探検に出かけ、公園の様子について学ぶ。

- 公園にはたくさんのものがある。  
(遊具・ベンチ・トイレなど)

- 公園を利用している人がたくさんいる。

**本時の目標** 公園がみんなで使う場所であることに気付き、楽しく遊ぶ計画を立てることができる。 【身近な環境や自分についての気付き】

**板書計画**

公園の写真    公園の写真    **じょうしこうえんで たのしくあそぶ けいかくをたてよう。**    公園の写真    公園の写真

○じょうしこうえんはどんなところ？

- ぶらんちがある。
- ベンチがある。
- みんそびがある。
- おはながうえてある。
- てあでんろがある。
- やまもと。ろがある。

○ぐるうがで たのしくあそぶくふう

○こうえんは たくさんのひとがつかう。

- みんなでつかうものがある。

○こうえんで、すこすきにはあるものをたいせつにつかう。

- めいわくをかけない。
- じゅんぱんをまもる。

○みんなでのしくあそぶために

- やくそくをまもる。
- あいてのことをかんがえる。
- いやがる。ともしない。

**今後の展開**

〈期待する児童の姿〉

- 公園などの公共施設を利用する際のルールやマナーについて理解し、自分以外の人たちのことも考えて正しく利用することができる。

〈次時の学習課題〉

- 公園での約束を守って、城址公園で楽しく遊ぼう。

一人一人を伸ばす 上位層、下位層に向けて

【上位層に向けての手立て】  
自分の気付きを深めさせるために、自分の気付いたことと比べて聞かせる。

【下位層に向けての手立て】  
発表の際に絵カードを使い、友達の気付きに関心を持たせる。

本時の流れ (授業スタンダード) 学習活動      指導上の留意点      □評価

**導入**

○城址公園を探検した時の様子をふり返る。

- ・写真を提示し、探検で感じたことを想起しやすくする。

**本時の学習課題**

じょうしこうえんで、たのしくあそぶけいかくをたてよう。

**活動□**

○公園探検で気付いたことを発表し、公園を利用するときに気を付けることを考える。

**児童の気付き**

- ・遊具がある。
- ・木がたくさんある。
- ・ベンチで休んでいる人がいる。
- ・トイレがある。

- ・みんなで使う。
- ・めいわくをかけない。
- ・順番を守る。

**活動□**

○グループで楽しく遊ぶ計画を考える。

- ・グループごとに、何をして遊ぶのか相談させる。
- ・みんなが楽しく遊ぶために気を付けること(工夫すること)も考えられるようにする。

○考えた計画を発表する。

□公園がみんなで使う場所であることに気付き、楽しく遊ぶ計画を立てることができる。 【気付き】

**ふり返り**

こうえんですぐすときには

- ・あるものをたいせつにつかう。
- ・めいわくをかけない。
- ・じゅんぱんをまもる。

みんなでのしくあそぶために

- ・やくそくをまもる。
- ・いやがることをしない。
- ・あいてのことをかんがえる。
- ・じゅんぱんでやる。